

第 16 章 東久保西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保西遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川とさかい川との間の低位台地に位置する。

遺跡の南側から東側にかけて埋没河川が流れ、現在では用水路になっている。以前は埋没河川を取り巻くように段差などが見られたが、こうした地形や環境も、区画整理事業と大規模な開発によりなくなりつつある。以前の標高は 18.0 ～ 21.0 m だったが、区画整理後は 19.5 ～ 20 m である。

周辺の遺跡は北西に江川南遺跡、北側に亀久保堀跡遺跡・東久保遺跡、南側に東中学校西遺跡が隣接する。

本遺跡は遺物の散布地であったが、1993 年に東久保西遺跡として新規登録し、さらに 1997 年東久保土地区画整理事業に伴い区画道路部分を調査した際、遺構の検出範囲が広がったため、遺跡の変更増を行った。

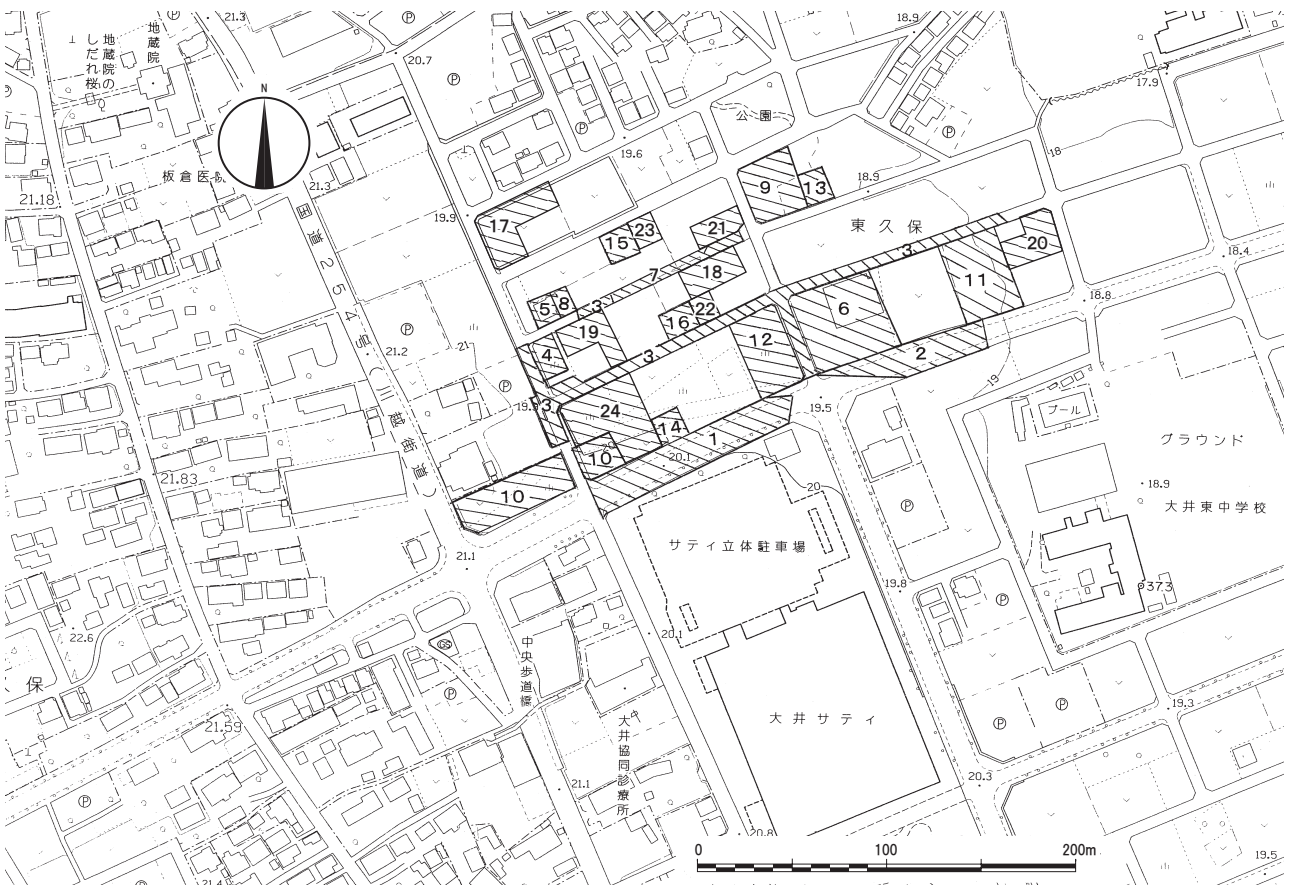
1994 年の初調査以来、2019 年 4 月現在 24 地点で調査を行ない、埋没河川であった用水路周辺から旧石器時代の礫群、縄文時代の落とし穴、屋外炉、中・近世の溝などを検出している。

II 東久保西遺跡第 22 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 11 月 15 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 12 月 22 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅 1 ～ 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。



第 91 図 東久保西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 52 表 東久保西遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	亀久保 399-1、400-1、407-1、407-2、408-1	1995.1.9 ～ 2.1	1,392	区画整理道路	溝状プラン確認、遺物なし	大調 14
		(1993.8.24 ～ 26)	75	区画整理竪坑	第 1 地点調査区内で工事立会、遺構遺物なし	
2	亀久保 419-1 他	1997.11.27 ～ 1998.1.27 1998.2.23 ～ 3.9	1,400	区画整理道路	縄文時代の落とし穴 1、土坑 1、ピット 16	大調 14
3	東久保	<A 区>1998.1.19 ～ 2.3	680	区画整理道路	縄文時代の落とし穴 1、土坑 1、ピット 9、溝 3	大調 14
		<B 区>1998.6.1 ～ 1	1,754			
		<C 区>1998.7.14 ～ 29				
		<D 区>1998.12.21 ～ 22 <E 区>1999.1.18 ～ 22				
4	東久保 10 街区 1 画地	(1998.12.1 ～ 2)	298	砂利敷駐車場	溝 1	町内Ⅷ
5	東久保 9 街区 9 画地	(1998.12.10 ～ 14)	194	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅷ
6	東久保 12 街区 1・2・10 画地	(1999.2.9 ～ 15) 1999.2.24 ～ 3.1	1,959	店 舗	旧石器時代の石器ブロック 3、縄文時代の落とし穴 1 黒曜石製の削器 1	町内Ⅷ、大調 14
7	東久保 250-1 他	1999.6.8 ～ 7.24	528	区画整理道路	中近世以降の溝 1	大調 14
8	東久保 9 街区 13 画地	(1999.11.2 ～ 5)	135	個人住宅	ピット 1	町内Ⅸ
9	東久保 14 街区 1・2・12 画地	(2000.1.28 ～ 2.9)	1,074	共同住宅	溝 1、ピット 11	町内Ⅸ
10	東久保 11 街区 3・11 画地	(2000.5.8 ～ 10)	1,760	店 舗	遺構遺物なし	町内Ⅹ
11	東久保 12 街区 5・9 画地	(2001.6.11 ～ 12)	1,445	駐車場	遺構なし、土器片 3	町内Ⅺ
12	東久保 11 街区 9・13 画地	(2001.6.25 ～ 7.2)	1,074	店 舗	遺構なし、近世以降の陶磁器片 7	町内Ⅺ
13	東久保 14 街区 11 画地	(2001.10.13 ～ 26)	275	個人住宅	黒色プラン確認、遺物なし	町内Ⅺ
14	東久保 11 街区 10 画地	(2002.1.31 ～ 2.4)	237	店 舗	遺構遺物なし	町内Ⅺ
15	東久保 9 街区 3 画地	(2003.2.3 ～ 5)	225	個人住宅	溝 2、土坑 1、ピット 1	町内Ⅻ
16	東久保 10 街区 6 画地	(2003.6.3 ～ 4)	273	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅻ
17	ふじみ野 2-9-1・2・3	(2006.10.26)	919	共同住宅	遺構遺物なし	市内 3
18	ふじみ野 2-11-8・5	(2007.1.16 ～ 19)	478	個人住宅	遺構遺物なし	市内 3
19	ふじみ野 2-11-3・4	(2008.7.2 ～ 3)	824	個人住宅建設	遺構遺物なし	市内 6
20	ふじみ野 2-13-7・8	(2012.12.20)	519	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
21	ふじみ野 2-10-8	(2013.1.31)	319	コンテナ設置	近現代イモビツ 1、遺物なし	市内 15
22	ふじみ野 2-11-11	(2016.12.22)	185	個人住宅	遺構なし、土器片	市内 24
23	ふじみ野 2-10-5	(2017.4.20)	237	個人住宅	遺構遺物なし	市内 24
24	ふじみ野 2-12-2	(2018.10.2 ～ 4)	1,586	貸店舗	遺構なし、土器片、土師器、瓦	未報告

現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm である。遺構は確認されなかったが、表土中より土器片数点が出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべて表土中より出土した。1 は土師器壺の底部である。底径 5.8 cm、外面はヘラケズリと指ナデ、内面はヘラナデで調整し、赤彩を施す。7 世紀代のものか。2 は陶器片で、器種は不明。内外両面に鉄釉を施す。肥前産か。近世以降のものであろう。

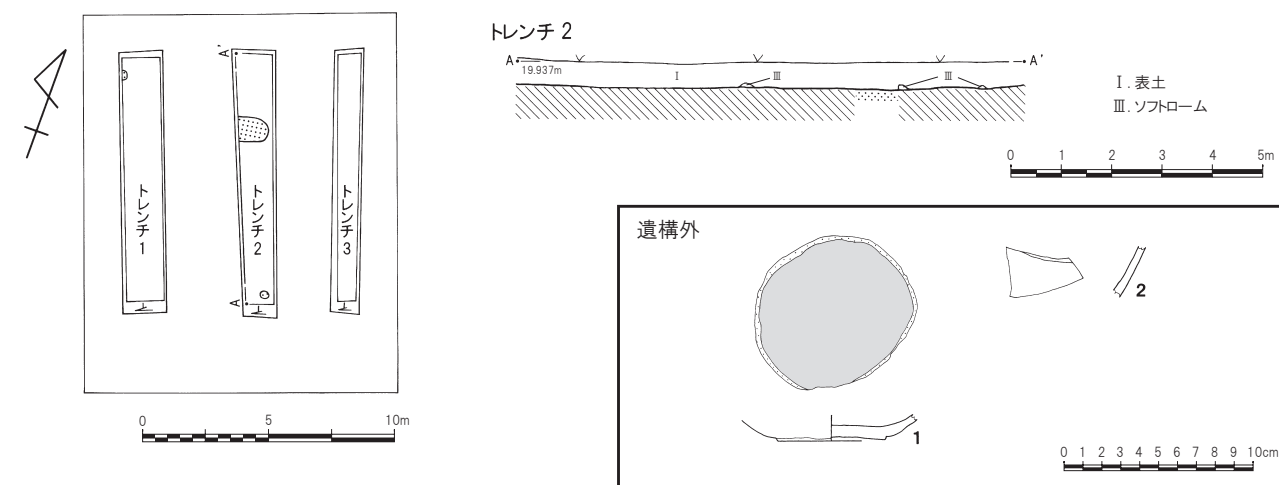
III 東久保西遺跡第 23 地点

(1) 調査の概要

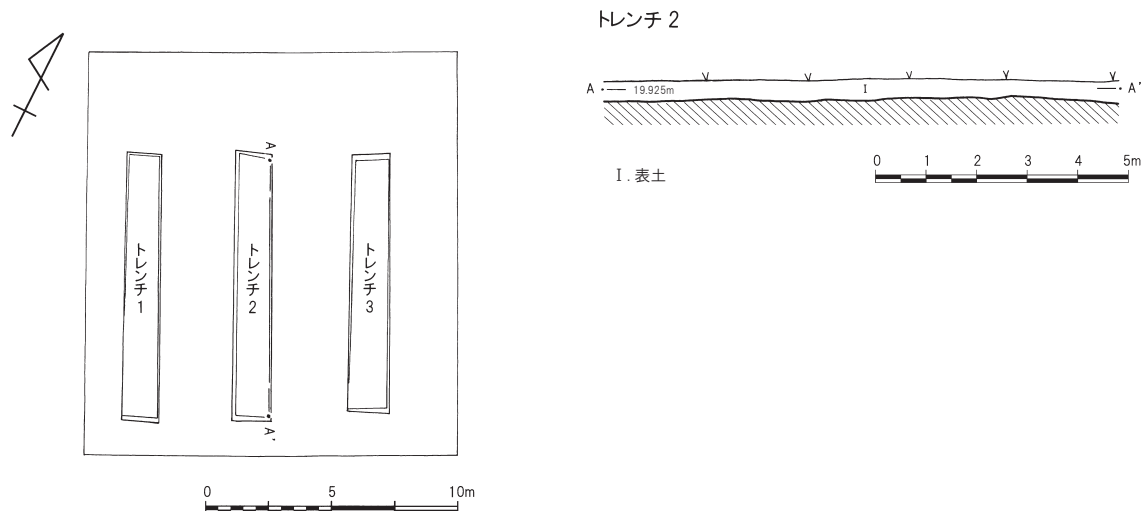
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 3 月 24 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2017 年 4 月 20 日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅 1.5 m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 20 ～ 30 cm であった。

遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行ったうえで埋め戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第 22 地点



第 23 地点



第 92 図 東久保西遺跡第 22・23 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、第 22 地点出土遺物 (1/4)



東久保西遺跡第 22 地点トレンチ 2

遺構外



1



2

東久保西遺跡第 22 地点出土遺物